

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	尿路上皮癌
治療法	キイトルーダ単独療法

	1
抗癌剤・商品名	キイトルーダ
規格	20mg 100mg
一般名	ペムプロリズマブ
一日投与量(規定)	200mg/body
患者情報から算出した一日投与量	200 mg
実際の投与量	200 mg
投与日	day1
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	尿路上皮癌
推奨経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
中止基準	添付文書ならびに院内対応フローチャートに準ずる
副作用	<p>●キイトルーダ</p> <p>重大 1.間質性肺疾患(3.2%) 2.大腸炎(1.6%)、重度の下痢(1.2%) 3.皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑(いずれも0.1%未満) 4.類天疱瘡(0.1%) 5.神経障害 6.肝機能障害、肝炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病(0.2%) 11.腎障害 12.膵炎(0.3%) 13.筋炎(0.2%)、横紋筋融解症(頻度不明) 14.重症筋無力症(0.1%未満) 15.心筋炎(0.1%未満) 16.脳炎(0.1%未満)、髄膜炎(0.1%) 17.免疫性血小板減少性紫斑病(頻度不明) 18.溶血性貧血(頻度不明) 19.赤芽球癆(頻度不明) 20. Infusion reaction(2.1%)</p> <p>その他(10%以上) 下痢、疲労、そう痒症、発疹 (1%~10%未満) 貧血、リンパ球減少、血小板減少、好中球減少、血中TSH 増加、悪心、嘔吐、便秘、口内乾燥、腹痛、口内炎、無力症、発熱、悪寒、インフルエンザ様疾患、倦怠感、末梢性浮腫、食欲減退、関節痛、筋肉痛、背部痛、筋痙縮、四肢痛、頭痛、味覚異常、浮動性めまい、血中クレアチニン増加、咳嗽、呼吸困難、尋常性白斑、皮膚乾燥、斑状丘疹状皮疹、紅斑、湿疹、皮膚色素減少、体重減少</p>
備考	免疫チェックポイント阻害薬対応フローチャートに準拠して投与を行うこと

キイトルーダ単独療法 観察記録

所要時間: 30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()					
医師	指示医師: キイトルーダ(mg) 一般名(ペムプロリズマブ)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加					
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			<table border="1"> <tr> <th>投与開始時間</th> <th>調剤</th> <th>実施</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	投与開始時間	調剤	実施		
投与開始時間	調剤	実施							
投与指示	本体	側管							
	生食100mL		ルートキープ						
		生食100mL + キイトルーダ	30分かけて点滴【200mL/hr】 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用						
本体終了後抜去									